

報告事項4 令和3年度職能委員会報告

職能委員会報告

[1] 保健師職能委員会

委員長 石井 靖子

1. 委員会開催状況

- 1) 委員会 12回
- 2) 検討事項
 - (1) 保健師の人材育成について
 - (2) コロナ禍での保健師業務実態調査について
 - (3) 地域包括ケアのための多職種連携等について
 - (4) 保健師職能（地域包括ケア）研修につて
 - (5) 合同職能委員会について
 - (6) コロナ禍での保健師業務実態調査について
 - (7) 情報交換
 - (8) 次年度計画、予算について

2. 活動報告

1) 会議等

- (1) 全国保健師職能委員長会(WEB) 第1回 7月5日 第2回 令和4年3月3日
- (2) 地区別保健師職能委員長会(WEB) 10月19日
- (3) 都道府県看護協会母子のための地域包括ケアシステム推進会議(WEB) 9月8日

2) 研修会、交流会等開催

- (1) 今日から実践できる！地域包括ケアシステムにおける保健師の役割(ナースプラザ福岡)

開催日 11月13日

講師 あざかみこどもクリニック 保健師 香月眞美 氏
田川市立病院 医療支援センター 副センター長 山口のり子 氏
福岡県立大学 看護学部 教授 尾形由起子 氏

内容 子育て世代 地域包括支援センターにおける保健師の役割、地域住民や他職種との連携による地域包括ケアシステム構築、地域住民のいのちを守る保健師 がつくる地域包括ケアシステム構築

対象 保健師、看護師、助産師

受講者 35名

- (2) 令和3年度合同職能委員会(ハイブリッド) [保健師職能委員会担当]

開催日 令和4年2月19日

内容 保健師・助産師・看護師Ⅰ・看護師Ⅱ委員が集まり、職務の相互理解のための活動紹介を行い、看護職能間の連携について意見交換をし、情報共有を諮った。

参加者 29名

3) その他

コロナ禍での保健師業務実態調査(令和4年度も継続して取り組む)

3. 今後の課題・検討事項等

- 1) 地域包括ケア実現のための保健師の役割と看護職連携の課題と対策
- 2) コロナ禍での保健師業務の実態の把握
- 3) 災害や感染症等健康危機管理体制の整備と人材育成
- 4) 保健師の会員拡大のための戦略の検討

1. 委員会開催状況

- 1) 委員会 12回
- 2) 検討事項
 - (1) 令和3年度助産師職能委員会研修企画
 - (2) 学会発表について
 - (3) 令和4年度研修企画
 - (4) 令和4年度予算立案
 - (5) 職能だより作成

2. 活動報告

1) 会議等

- (1) 全国職能委員長会(WEB) 第1回 7月7日 第2回 令和4年3月3日
- (2) 地区別職能委員長会(WEB) 10月19日
- (3) 福岡県助産師活用推進会議(WEB) 8月6日・令和4年2月4日
- (4) 令和3年度 都道府県看護協会母子のための地域包括ケアシステム推進会議(WEB) 9月8日

2) 学会・研修等参加

- (1) 第29回福岡母性衛生学会(WEB) 7月4日
・分娩取扱施設における母子の連携と協働に関する実態調査-福岡県の現状と課題-
- (2) 第62回日本母性衛生学会(WEB) 10月15日・16日
・第1回 WHC～不妊治療とその後の妊産婦のケアの実践～実践報告

3) 令和3年度合同職能集会企画・運営(オンデマンド) 6月15日～8月10日 視聴者: 201名

テーマ: 家庭に潜む闇 貧困と虐待の連鎖 ～子どもを救える社会へ～

講師: 北里大学医学部公衆衛生学 講師 可知悠子氏

4) 研修会等開催

(1) 研修名 院内助産スキルアップ研修(オンライン)

開催日 5月16日・5月30日・6月12日

講師 福岡市東区保健福祉センター 健康課母子保健係 姫野たまみ氏

福岡大学病院 看護師長 長谷川まどか氏

東野産婦人科 総師長 清田哲子氏

産業医科大学産業保健学部 教授 實崎美奈氏

井上善レディースクリニック 看護師長 松尾則子氏

国際医療福祉大学大学院 教授 佐藤香代氏

内 容 新型コロナウイルス妊産婦 SOS/助産師出向システムの実例 in福岡(出向元医療施設の立場から/出向先医療施設の立場から)/不妊・不育の悩みをもつ女性の支援/乳腺炎と乳房のケア/助産師のキャリア開発/助産師のコア・コンピテンシー

対 象 助産師経験3年目以上

受講者 18名

(2) 研修名 新人助産師研修(オンライン)

開催日 7月24日・8月7日・8月22日

講師 久留米大学医学部産科婦人科学講座 教授 吉里俊幸氏

真田産婦人科麻酔科クリニック 総看護師長 島ノ江栄子氏

東野産婦人科 看護主任 岩田優香氏

帝京大学大学院 教授 椎葉美千代氏

愛和病院 看護部長 田中啓子氏

JOHO九州病院 看護師長 早田真由美氏

大牟田市立病院 助産師 長田美智子氏

国際医療福祉大学大学院 教授 佐藤香代氏

内 容 CTG モニター・母体合併妊娠:GDM・HDP・精神疾患・産科出血/産褥期のメンタルヘルスの観察の

視点とケア/正常分娩の助産診断・アセスメント/正常分娩の実際（演習）分娩第1期のケア/助産の起源・哲学、助産師の役割、助産師の倫理、目標とする助産師像

対象 助産師経験3年目までの助産師

受講者 57名

5) 交流会・情報交換会等

(1) 産科管理者交流会

開催日 9月26日

内容 助産師職能委員会の動向・理事会報告/災害時に職員を守るマネジメント-コロナ禍をとおして-

対象 産科管理を実践している助産師・看護師

参加者 11名

3. 今後の課題・検討事項等

令和3年度の助産師職能委員会は、年間目標として 1.安全安心な出産環境のための人材育成と体制整備の推進 2.子育て世代包括ケアシステムにおける看護機能の強化に関する意見集約と課題発見の2点を掲げた。令和2年度は、コロナ禍の混乱の中で院内助産スキルアップ研修・新人助産師研修・産科管理者交流会を中止したが、令和3年度は急遽オンライン研修として全研修を開催した。受講者募集に対して助産師が従事するチラシを配布したが、新人助産師研修以外の受講生・参加者は増加しなかった。内容・募集方法を検討していきたい。また地域包括ケアシステム推進のために令和2年度に行った「母子支援に関する助産師の連携と協働に関する実態調査」のデータをもとに、現在の福岡県母子支援状況を分析し課題を明確にした。今後の課題として、地域における連携ネットワークの構築や顔に見える関係づくり、他県を含む情報システムの構築などが求められていた。令和4年度は連携・ネットワークの強化を行っていきたい。

〔 3 〕 看護師職能委員会 I

委員長 松永 由紀子

1. 委員会開催状況

1) 委員会 10回

2) 検討事項

(1) 令和4年度の事業：研修・企画・運営について

(2) 研修会の評価

(3) 新型コロナウイルス感染症対応状況について

(4) 職能だよりの作成

(5) 令和4年度合同職能集会について

(6) 合同職能委員会について

2. 活動報告

1) 会議等

(1) 全国看護師職能委員長会(WEB) 2回(7月・令和4年3月)

(2) 地区別職能委員長会(WEB) 1回(10月)

2) 研修会等開催

(1) 研修名 特定行為に係る看護師の育成と特定行為に係る看護師の活動の実際

開催日 9月15日

講師 ①日本看護協会 木澤晃代 ②福岡赤十字病院 寺田昌弘 ③済生会福岡総合病院 末永健二

内容 ①日本看護協会における特定行為研修について ②③特定講師研修の動機と活動の実際

対象 全看護職 特定行為に興味・関心を持っている看護職及び育成したい看護管理者

受講者 38名

(2) 研修名 ①准看護師進学支援/②SBAR 看護実践研修

開催日 10月30日

講師 ①専門学校麻生看護大学校 高橋 洋子 ②福岡大学筑紫病院 小林 晶

内容 ①進学を考えている准看護師への進学支援 ②SBAR 看護実践研修

対象 准看護師

受講者 10名

3) シンポジウムによる看護管理者の交流会・意見交換

(1) 交流会 新型コロナウイルス感染症対応に関わる看護管理者の意見交換会

開催日 11月6日

シンポジスト ①福岡大学病院 中川朋子 ②福岡市民病院 田邊郁子
③夫婦石病院 後藤裕子 ④福岡大学筑紫病院 樋口靖子

内 容 新型コロナウイルス感染症対応における看護管理者の情報共有・意見交換、看護管理課題解決
シンポジストによる話題提供と意見交換

- ①重症患者受け入れに伴う看護管理
- ②新型コロナ患者受け入れに伴う専用病棟の開設
- ③患者・家族への精神的サポート～クラスター発生を経験して
- ④職員のメンタルサポートにおける課題

対 象 看護管理者

参加者 44名

(2) 情報交換会 地域包括ケア推進における看護職間の連携強化に向けて

開催日 令和4年2月19日

内 容 地域包括ケア推進に向けた各職能委員会、合同意見交換会

対 象 会長、副会長、専務理事、常任理事、各職能委員の委員長・副委員長・委員

参加者 29名

3. 今後の課題・検討事項等

今年度は感染防護対策を徹底し、対面による集合研修を実施した。研修会はいずれもタイムリーな話題を企画し実施した。特定行為研修は、年々関心も高く今後も継続し、資格取得者の活動の実際や育成する看護管理者の活動支援について継続する。また新型コロナウイルス感染症対応における看護管理者の交流会では各施設の取り組みの実際やグループワークでの意見交換の中で、自施設の課題解決の一助となる機会を得た。

今後もタイムリーな話題提供を企画していきたい。また開催方法についてはWEBも可能となっており多くの人が受講できる体制も考慮し進めていく。

また、今年度、初めて各職能委員会が合同で意見交換会を開催した。地域包括ケア推進に向け、各職能の役割を踏まえ、職能間の連携・協働できる体制を整備し、活動の幅を拡大していくことが課題である。

〔 4 〕 看護師職能委員会Ⅱ

委員長 宮田 真由美

1. 委員会開催状況

1) 委員会 12回(オンライン会議4回含む)

2) 検討事項

- (1) 各研修・交流会に関すること
- (2) ハラスメントアンケート結果、分析、今後の件
- (3) コロナウイルス感染に関わる各現場での対応などの情報交換
- (4) BCPの取り組み
- (5) 全国職能委員長会、地区別職能委員長会報告など
- (6) 次年度活動計画と予算について

2. 活動報告

1) 会議等

- (1) 全国看護師職能委員長会(WEB) 2回(7月・令和4年3月)
- (2) 地区別職能委員長会(WEB) 1回(10月)
- (3) 3委員会委員長による合同活動に係る検討 2回(7月・11月)
- (4) 福岡県介護人材定着促進協議会 2回(2回とも書面決議・意見の集約)

2) 学会・研修等参加

- (1) 令和3年度「介護施設における看護指導者養成研修」 参加者1名
開催方法：講義動画事前視聴とオンライン受講(リアルタイム配信)

開催日：①講義動画の配信 9月28日～11月30日

②オンライン研修 1日目 12月16日 2日目 令和4年1月28日

3) 研修会等開催

(1) 研修名 在宅・施設看取り研修

開催日 9月11日

講師 日本赤十字九州国際大学 西尾美登里 氏

内容 I部 講演「近年における社会構造の変化、多職種における看取りについて等」及び模擬療養家族による語りを通してグループディスカッション

II部 グループワーク(連携について困っていること望むこと。施設・病院から自宅に帰るために必要な連携について)

対象 在宅及び施設看護職、診療所看護職

受講者 76名

(2) 研修名 在宅・施設管理者研修

開催日 11月13日

講師 介護・福祉系法律事務所おかげさま 介護弁護士 外岡潤 氏

内容 講演「介護現場におけるハラスメント対応について～介護・在宅領域における管理者の役割～」及びグループワーク

対象 在宅・施設・診療所看護職の管理者、リーダー等

受講者 36名

4) その他

今年度、「施設看取りのあれこれ」の冊子を活用した研修の依頼を福岡県介護老人保健施設協会筑後ブロックより受けていたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止となった。今後も依頼があれば実施予定。

3. 今後の課題・検討事項等

- ・会員拡大の課題
- ・地域包括ケアシステムを推進していく中での、病院と施設・在宅系看護師との連携の課題
- ・ハラスメント対応マニュアル検討
- ・人材確保の課題